

## 映画「ハーメルン」を応援します

過日、映画監督の坪川拓史氏が我が昭和村を訪ねてきました。

お話を伺うと、彼の長編三作目となる映画『ハーメルン』のロケを昭和村でおこないたいとのこと。彼は「映画の約8割は昭和村が舞台。廃校になった喰丸小学校を中心に物語が展開される。自分としては単なる舞台ではなく、昭和村の美しい景色、そして喰丸小学校を映画の主人公の一人として考えている」と熱く語りました。

昭和村は人口1,500人の小さな村です。喰丸小学校は明治22年開校し、昭和55年廃校となりましたが、昭和12年建築の現在の木造校舎は築72年の間、村と会津、そして福島と日本を見守ってきました。

しかし、その校舎は取り壊しが予定されています。老朽化により、維持と保存が年々困難になってきたのです。そうした折、村民の思い出と重なる小学校が、映画『ハーメルン』によって命の輝きを取り戻し、映像の中に半ば恒久的に生き続けると云うことは、私のみならず村民にとっても誠に喜ばしいことです。

映画を完成させるまでには大変な苦労があると推察しています。私はそれらを乗り越えようとする若き坪川拓史映画監督の情熱を高く評価し、応援しています。また私はこの映画を通して、昭和村の未来のひとつを築けたならばと希望しております。

皆様方にも多大なるご支援を切にお願いするとともに、映画『ハーメルン』が完成し、世に送り出されることを強く祈念しております。

平成21年10月吉日

福島県大沼郡昭和村長 馬場孝允



# 会津の景色に恥じない作品を！

『ハーメルン』は、昭和村の喰丸小学校をメイン舞台に、小さな町の廃校に暮らす元校長先生と、その街に帰郷した卒業生をめぐる、ある晩秋の物語です。映画の主たる舞台になるのは、廃校です。

しかし、廃校ならば {どんなものでもよい} という訳ではありません。  
校舎は、この映画の、大事な俳優の一人になるからです。



更に、その学校の校庭には、その村の栄枯盛衰をずっと見守ってきたような大きな木が立っていて欲しい、と考えていました。

そんな理想の学校を求めて昨年よりロケハンを続け、数多くの町を訪れました。が、しかし、そのような場所は一向に見つからず、「校庭に大きな木のある廃校なんてそんな都合の良い場所なんて無いのか…」と諦めかけた頃、ようやく巡り会ったのがこの昭和村の喰丸小学校でした。

昭和村の歴史と空気が染み込んだ木造校舎の美しさ、校庭の立派なイチョウの存在は勿論の事、昭和村の風景、案内してくれた方々の人柄、あちこちに湧き出る美味しい水…。そのどれもが心に染みる、素晴らしい出会いでした。

この度、昭和村・馬場村長より『ハーメルン』撮影への応援文を頂戴しました。

私のような若輩者が突然押しかけたのにも関わらず、温かい応援を頂きました事は、とても心に染みました。喰丸小学校と出逢えた事、村長の御理解を賜る事ができた事は映画の神様の導きかも知れない、と勝手に解釈しております。

映画制作には、数々の困難が伴いますが、こうした暖かい励ましを糧に、それらを乗り越え、会津の景色に恥じない作品を完成させようと、決意を新たにしております。

これからも宜しくお願いします。

平成21年10月19日

坪川拓史



# ロケの90%は福島で実施

## 福島県大沼郡昭和村 喰丸小学校



- 会津地方の西南部に位置し、縄文時代より続く歴史ある里(昭和村)。天狗伝説も残る深い山々に囲まれた、日本の原風景が残る美しい村。
- 伝統的な(からむし織り)の里として、またカスミノウの産地として知られていますが、残念な事に最近、過疎・高齢化が進んでいます。
- 昭和12年に建てられ、長年、村の歴史を見守ってきた喰丸小学校の校舎は2009年秋に体育館が、来年以降には校舎も解体される予定です。

## 福島県本宮市 「本宮映画劇場」



- 本宮市といえば、「本宮方式」と呼ばれる映画の制作方法を編み出した程、昔から、映画への愛もアイデアも溢れる町。
- 本宮映画劇場は、その町で大正時代に開設され45年前に閉館された由緒ある映画館。最近、館主の田村氏が、劇場を復活させ、新聞等でも度々取り上げられ話題になっています。
- この本宮映画劇場も映画「ハーメルン」の舞台となります。

## 製作意図とテーマ

---

私たちの世界は現在、  
**【大切ななにか】**を失ってしまったかのような、  
深い喪失感の中にあります。  
それは、**【つながり】**というものを蔑ろにしてきた結果によって  
生じたものなのではないでしょうか。  
**【人と人とのつながり】**、さらには、  
この地球が誕生した遙か昔より、今日現在に至るまで、  
途切れることなく続いて来た**【生命のつながり】**。  
そうした事への無関心さが、この喪失感の根底にあるように思えてなりません。  
映画「ハーメルン」は、  
このような喪失の時代に警鐘をならす、と言うと偉そうですが、  
それ程の意気込みを持って企画された映画です。  
**【失くしてはいけないもの】【忘れられていく大切なこと】**  
映画を観た人達が、そのような**【なにか】**に想いをはせる、  
そのきっかけに成り得る映画を作りたいと考えております。

---

---